増 山 幹 高 教授

役 職:学長補佐,修士課程委員会委員長,公共政策プログラムディレクター、Young Leaders Program ディレクター代理(行政担当)、教授

専門分野:日本政治、議会制度、計量分析

学 位: Ph.D. (ミシガン大学、政治学)

略 歴:1989年慶應義塾大学法学部卒、2001年ミシガン大学Ph.D.取得、成蹊大学法学部教授、慶應義塾大学法学部教授を経て、2009年本学教授(現在に至る)。

1. 業 績(A)

- (1) 雑誌論文(単著)
 - * Mikitaka Masuyama, "Japan," European Journal of Political Research, 50: 1024-1034, 2011.
- (2) 学会発表
 - * Mikitaka Masuyama, "Text-based Search on Diet Deliberation Video Clips," presented at the 2012 Annual Meeting of the Association for Asian Studies, Toronto, Canada, March 15-18, 2012.
 - * Mikitaka Masuyama and Benjamin Nyblade, "DPJ Ministerial Selection and Durability: A Long Term Perspective," prepared for delivery at the 2012 Annual Meeting of the Association for Asian Studies, Toronto, Canada, March 15-18, 2012.
 - * Mikitaka Masuyama and Benjamin Nyblade, "Cabinet Government and Ministerial Turnover in Japan, 1885-2010," prepared for the European Consortium of Political Research Joint Sessions, St. Gallen, Switzerland, April 12-17, 2011.

2. 業 績(B)

書評 • 解説等

- * 増山幹高「21世紀臨調とは何か」『朝日ジャーナル』2011年10月25日,49~51頁.
- * Mikitaka Masuyama, "Japanese PM Yoshihiko Noda: Staying for the long haul?" East Asia Forum, September 22, 2011.
- * <u>増山幹高</u>「書評:竹中治堅著『参議院とは何か-1947~2010』(中央公論新社, 2010年)」『年報政治学2011-I』、2011年1月、293~295頁.

3. 助成金等による研究

* 平成23年度科学研究費補助金(基盤研究S)「政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化」研究代表者

4. 教育

- (1) 講義
 - * Government and Politics in Japan (Fall)
 - * 社会科学方法論(量的分析)(博士課程·秋学期)
 - * 比較議会制度(秋学期)
 - * Independent Study (通年)

- (2) 演習
 - * 公共政策論文演習(秋学期)
- (3) 論文指導
 - * Young Leaders Program 19 名、すべて修士取得、うち主指導 2 名、副指導 17 名
 - * 公共政策プログラム5名、すべて修士取得、うち主指導2名、副指導3名
 - * 博士課程 Public Policy Program 1 名、主指導
 - * 政策プロフェッショナルプログラム 4名、うち博士取得 3名、すべて副指導(共同 主査)
- (4) 研修事業
 - * バリ民主主義フォーラム東京都知事選挙訪問プログラム、2011 年 4 月 6 日~4 月 13 日、講師
 - * 2011 年タイ公共管理及びリーダーシップ開発研修プログラム(PMLTP)、2011 年 5 月 22 日~6 月 4 日、講師
 - * NIS 諸国外交官研修、外務省、10 名参加、2011 年 12 月 13 日、講師

5. 管理・運営への関与

- (1) 委員会
 - * 研究教育評議会委員
 - * 修士課程委員会委員
 - * Young Leaders Program Committee
 - * 公共政策プログラム・コミティー
 - * 政策プロフェショナルプログラム・コミティー企画懇談会
 - * 教員人事委員会
 - * 教員業績評価委員会
 - * 政策研究センター運営調査会
 - * 政策研究院創設準備会
- (2) タスクフォース
 - * 研修タスクフォース
 - * リーディング大学院タスクフォース
 - * カリキュラム・タスクフォース
 - * 大学改革タスクフォース
- (3) その他
 - * 学長補佐
 - * 修士課程委員会委員長
 - * 公共政策プログラム (修士課程) ディレクター
 - * Young Leaders Program (修士課程) ディレクター代理

6. 社会的貢献(A)

- (1) 他大学・研究所等における活動
 - ① 非常勤講師
 - * 慶應義塾大学法学部客員教授
 - ② 委員会等
 - * 京都大学公共政策大学院外部評価委員会委員

- (2) 学会等における活動
 - * 日本選挙学会:理事,年報委員会委員長
 - * 日本政治学会:書評委員会委員
- (3) その他
 - *「レヴァイアサン」編集委員,書評委員
 - *「公共選択の研究」編集委員
 - * 新しい日本をつくる国民会議(21世紀臨調)

7. 社会的貢献(B)

ジャーナリズムでの発言(活字メディア)

- *「衆院解散、被災地の選挙延期できず」日本経済新聞(2011年5月18日)
- *「西岡氏 首相退陣要求 批判と支持 与野党交錯」北海道新聞(2011 年 5 月 21 日)
- * "Endgame nearing for unpopular Japan PM" Reuters (2011 年 8 月 10 日)
- * "Instant view: Japan ruling party picks Noda as PM" Reuters (2011年8月29日)
- *「日本"黒衣宰相"の再来?」時代週報(2011年9月1日)
- * "Japan eyes free trade deal to capture Asia growth" Reuters(2011年11月8日)
- *「小沢元代表,選挙対策に多額資金」日本経済新聞(2011年12月1日)
- *「内閣改造、支持率動かす 消費増税へ体制固めなるか」日本経済新聞(2012年1 月12日)
- *「2012 岐路の国会:与党七部譲る気構えを」北海道新聞(2012年2月10日)
- *「勧告期限守れず「違法状態」に 1 票の格差 是正遠のく」日本経済新聞 (2012 年 2 月 23 日)